

# 米津真浩

## ラフマニノフ

今注目ピアニスト、米津真浩が奏でる  
ラフマニノフの世界



神田将 Electone



菊池玲那 Electone

TADAIRO  
YONEZU

S. Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 and Piano Concerto No.3

ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

ピアノ:米津真浩 エレクトーン:菊池玲那

ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 作品30

ピアノ:米津真浩 エレクトーン:神田将

※この公演ではオーケストラ部分をエレクトーンで演奏します。  
オーケストラの出演はありません。オーケストラを思わせるエレクトーンの  
豊かな色彩感と、一対一ならではのブレのないアンサンブルによる、  
協奏曲の新しいスタイルを提案しています。

2021.8.9 (月・祝) 14:00 開演  
(13:30 開場)

クリエイトセンターホール

(茨木市 市民総合センター)

全席指定 一般 5,500円  
U-24 2,000円(数量限定)

主催:ムセイオン音楽協会

協賛:ナリス化粧品菊池販売所

後援:公益財団法人茨木市文化振興財団

協力:ヤマハエレクトーンシティ

企画・制作:株式会社神田将音楽事務所

問い合わせ:090-6988-0882(菊池) lena.electone@gmail.com

【チケットの取扱い】

■(公財)茨木市文化振興財団

【電話】072-625-3055 / 9:00-17:00

【窓口】財団チケットカウンター

(クリエイトセンター1階 / 福祉文化会館3階) / 9:00-17:00

■神田将公式サイトオンラインショップ

<http://shop.yksonic.com/>

※ご購入済チケットの紛失による再発行はできません。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※会場内での飲食、許可の無い撮影及び録音等の行為は禁止されています。

※本公演は入場者を制限し、座席間隔を空けての販売となります。

※ご来場の際はマスクの着用をお願いします。

※発熱などの体調に不安のあるお客様のご来場はお控えください。

※公演は、中止または変更になる場合がございます。予めご了承ください。



# TADAHIRO YONEZU RACHMANINOFF

◇ 米津真浩 / ピアノ

## Tadahiro Yonezu



千葉県千葉市出身のピアニスト。千葉県立幕張総合高校を経て、東京音楽大学器楽専攻（ピアノ演奏家コース）卒業。

同大学院を首席で修了。大学、大学院在学中特待奨学生として在学。2009年度、同大学ティーチングアシスタント。大学院修了後、異例の若さで母校である東京音楽大学にて非常勤助手として後進の指導に当たり、その後更なる研鑽を積むため、2013年・2014年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生としてイタリアの名門イモラ音楽院へ留学。

2007年第76回日本音楽コンクールピアノ部門 第2位入賞。岩谷賞(聴衆賞)を受賞。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、Gross Vogel Philharmoniker、東京音楽大学ブレイジングオーケストラ等様々なオーケストラと共演。仙台クラシックフェスティバル 2011年・2012年出演、成田国際空港ロビーコンサート出演。X JAPAN ToshI のライブサポートメンバーも務める。ソロ、室内楽等の演奏活動だけにとどまらず、クラシック音楽の普及をモットーに音源や記事の提供、TV出演、ボランティア活動、後進の指導、青少年文化センターアーティストとして小学生から高校生までを対象とした学校公演を行ったりと、アウトリーチ活動にも積極的に力を注ぐ。これまでに寺田栄子、高梨淳子、村上隆、弘中孝、Leonid Margariusの各氏に師事。また、M. ラエカッリオ、P. ネルセシアン、S. ドレンスキー、A. サッツ、M. ベロフ、D. ヨッフエ、B. リグット、V. リヤードフ、B. ゲツケ、T. ゼリクマン、B. ベトルチャンスキー、P. ドヴァイヨンといった世界的なピアニスト・教授陣の指導を受ける。2015年冬より拠点を日本へ戻し本格的に演奏活動を開始。フジテレビ『金曜日の聞きたい女たち』、テレビ朝日『芸術ハカセ』『ならデキ』等のテレビ番組やラジオといったメディアへの出演も積極的に行う。高嶋音楽事務所所属。

## Yuki KANDA

◇ 神田将 / エレクトーン

1台のエレクトーンでフルオーケストラを思わせる豊かな音を奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。特にクラシック作品の演奏を得意とし、独自の技術と高い音楽性が絶賛されている。

仙台クラシックフェスティバル(2009-)や、霧島国際音楽祭(2013-)などの日本を代表する音楽祭に、唯一のエレクトーン奏者として出演。また、中国上海国際芸術祭への出演を機に、海外音楽祭への参加やリサイタルも増え、日本生まれの楽器であるエレクトーンを演奏する日本人音楽家として各国で人気を博している。国内では、ソロコンサートを中心にしながらも、数々の一流音楽家との共演や、舞踊や邦楽などジャンルを超えたコラボレーションでも好評を博す。また、第九演奏会やオペラ上演でのエレクトーン1台によるフルオーケストラ担当、全国各地の小中学校への訪問コンサートなども積極的におこない、エレクトーンの可能性を広げるための努力を重ねているほか、公演の制作や演出の手腕にも定評がある。東京文化会館でのリサイタルを2015年から継続中で、2021年にはエレクトーン史上初となる東京文化会館大ホールでのリサイタルを開催。

2019年に演奏家活動25周年を迎え、演奏のみならずスマートなトークにも磨きがかかり、今後の活躍がますます期待される。

公式ホームページ [www.yksonic.com](http://www.yksonic.com)

◇ 菊池玲那 / エレクトーン

## Reina KIKUCHI



1996年生まれ。2歳からヤマハ音楽教室に通う。幼少よりエレクトーンを岡本広美氏、ピアノを柳生雅永子氏に師事。一般財団法人ヤマハ音楽振興会エレクトーン特別ゼミで出会った神田将氏の音楽に憧れ、2010年に入門して現在に至る。

2017年には、韓国昌原第九、宍粟第九、周南第九に合唱団員として参加し、神田将氏の演奏と共に歌う。

2018年4月には、姫路労音「エレクトーンの魅力を学ぶ集い」に出演。

2020年にエレクトーン演奏家として本格的に活動をスタートし、フルートの玉村三幸、サクソフォンの波多江史朗、シンガーの松本昌子、ソプラノの清水理恵と共演。

日本青少年文化センターによる学校訪問巡回コンサートに参加。また、舞台監督や制作のアシスタントも務めるなど経験を広げており、将来を期待されている。

